しんしのつの風景から

①子犬だった頃の「雛」ちゃん

②現在の「雛」ちゃん

犬を捨てないで…
子供たちがあげた
たった十二日間の幸せ

神社に
野良犬がいます

③広報しんしのつ（平成４年１月号）の記事

～ 20年前に捨てられた子犬が20歳の長寿犬に！～

広報のひろば

▽今回のしんしのつの風景からは、風景を写真で見るのではなく、ちょっと、違った視点で「しんしのつの風景から」を紹介します。

▽みなさん、覚えていますか？広報新しのつ村Ｈ４年（１９９２年）１月号で「犬を捨てないで…子供たちがあげたたった十二日間の幸せ」の記事。当時、小学１年生、２年生、４年生、５年生の18人が捨てられた親犬と５匹の子犬を保護し、子供たちみんなが協力して、神社の南側に大きな犬小屋を作り、食べ物を与え、役場職員が捕獲するまでの12日間、６匹の大切な命を守っていた話です。当時、この記事を読んだ方は、子供たちの純粋な優しさに心を打たれ、大切な命を見捨てた無責任な飼い主への怒りがおさまらなかったと思います。

▽それから数年後（１９９５年（平成７年）１月11日）、役場住民課の担当者から長屋美鈴さん（萌出）に「捨てられた子犬２匹いるので、飼い主になってくれないか」という連絡が入りました。子犬らは飼い主が見つからなければ保健所で殺処分になるとの事で、かわいそうと思った長屋さんは、大人しそうな子犬（♀）１匹を引き取ることを決心し、名前を「雛」と名付け、お家で飼うことにしました。（もう１匹の子犬は別な方が引き取りました）

▽長屋家の一員として迎えられた「雛」ちゃんは、１日２回の散歩を欠かさず行い、食事もドライタイプのドッグフードを元気よく食べ、すくすく育ちました。おやつは市販のジャーキーなどではなく、生野菜の「キャベツ」を好み、家族みんなの愛情を受けながら、健やかに過ごしてきました。「雛」ちゃんは、２回ほど大病を患ったことがありますが、そんな苦難を乗り越え、現在の年齢は20歳。人間の年齢に換算すると96歳になります。足腰は弱ってしまいましたが、元気な毎日を穏やかに過ごしています。かかりつけの動物病院の先生も20歳の中型犬の診察はしたことがないとの事です。長屋さんは「捨て犬だった雛ちゃんと20年も暮らせるとは思いませんでした。子供が独立して、今では３人の暮らしなので、これからも一緒に仲良く過ごしたい」と愛犬の健康長寿を喜んでいました。

▽一度は捨てられたかもしれませんが、優しい家族と出会い、一緒に暮らせて良かったですね！雛ちゃん。

きっと、あの頃の子供たちの想いが20数年の時を経て叶ったのかもしれません。（Ｙ）

▽「しんしのつの風景から」として広報紙で紹介する写真を募集しています。

▽広報に関するご意見やご要望などをお聞かせください。

村の人口・世帯数
平成27年１月末日現在

人　口	３，３３１人	（前月比　－２人）
男	１，５９１人	（　〃　＋１人）
女	１，７４０人	（　〃　－３人）
世帯数	１，４１５世帯	（　〃　－３世帯）

発行／新篠津村（〒068－1192）
北海道石狩郡新篠津村第47線北13番地
編集／総務課企画係　ＴＥＬ0126－57－2111
ＦＡＸ0126－57－2226
E-mail：kikaku1@vill.shinshinotsu.hokkaido.jp
URL：http://www.vill.shinshinotsu.hokkaido.jp/
印刷／㈱組合印刷　岩見沢市上幌向町５５９番地４